

令和2年度 第2回伊東市政モニター会議録（要旨）

日時 令和2年10月5日（月）午後2時～3時30分

場所 市役所7階 特別会議室

出席者 市政モニター9人（1人欠席）

市長、若山副市長、中村副市長、企画部長、秘書課長、担当

1 開会

2 市長あいさつ

今回はテーマを限定せず、ざっくばらんにお話ができたらと思っている。

昨年度は3通のモニター通信をいただいたが、今年度はすでに8通いただき、そのうち1通は現在回答作成中である。様々な分野のご提案をいただいております、皆さんが日頃からいろいろな事を気にかけてくださっていることを感じている。今日ご提案いただくこともしっかりと検討していきたい。

3 懇談

モニター通信の紹介（担当）

（これまでにいただいたモニター通信について報告）

日頃思っていることや伊東市の将来、地域の課題などについて

【モニターF氏】

メガソーラーの裁判について、一審は負けたと聞いていますが、今後どのようなお考えで対応していくのか伺います。また、市議会議員が提案して事業者の説明会を行ったと聞きましたが、そこに市の方は出席されたのか、そしてどのような内容だったのか伺います。

【市長】

裁判につきましては、市が河川法に係る許可を不許可にしたことに対し、事業者から許可すべきではないかとの訴えがありました。一審は敗訴しましたが、高裁に準備書類を提出しています。行政として、反対ありきではなく公正な立場で主張しています。判決が出た時点でいろいろと判断しなければならないことが出てきますが、しっかりと裁判に臨んでいきます。

【中村副市長】

新聞に掲載されていた、事業者から市議会議員への説明会につきましては、市の職員は出席しておりません。あくまでも事業者と議会とのやりとりです。内容につきましても、新聞の報道以外の事は承知しておりません。

ただし、議会から、事業者からの話を聞く前に市当局からも話を聞いておきたいとの要請がありましたので、裁判のことや、今後事業者とどう向き合っていくかについて事前説明を行っております。内容は、ただ今市長が申し上げたとおりのことです。

【モニターE氏】

昨日の大室山の花火はとても良かったです。浮山からよく見えました。南部地域の人は、混雑でオレンジビーチへ花火を見に行くことが大変ですので、今後年に1回は実施してほしいです。広い範囲で、それぞれの場所から密にならずに見ることができたと思います。

【市長】

以前から案はありましたが、消防の観点やシャボテン公園の動物への影響などにより、実施できませんでした。今年はシャボテン公園に特別に人員を配置していただいて、花火の音に驚いた動物をなだめてもらうこととしました。私は山頂にいましたが、特に動物の叫び声が聞こえなかったのも、おそらく大丈夫だったのではないかと思います。また、初めてのことで、近隣住民から苦情が出ることも予想しておりましたが、苦情はありませんでした。好評だったというのであれば、今後の実施について考えていきたいと思っています。

【モニターE氏】

花火当日の午前中に、さくらの里で有志の方々がフェスティバルのような催しをやっていました。みんなあのようなイベントを待ち焦がれていたんだなと思いました。新型コロナウイルスの感染対策も必要ですが、早く気兼ねなく楽しめる時がくればと思います。

八幡野観音付近の山が崩れたら危険とのことで、迂回路の建設が予定されていると思いますが、どんどん遅れている気がします。台風シーズンが近づくとつれて不安です。あの場所が通行できなくなったら、完全に遮断されてしまいます。早く建設してほしいのですが、いつ頃になるのでしょうか。

【市長】

迂回路につきましては、現在準備を進めており、今月中には入札を行い、11

月中旬頃から工事に着手できる見込みで、完成予定は令和3年3月末です。急傾斜の土地の保護も県の予算がつかまりましたので、保護ネットを全体的に張ります。また、生えている木も間引きしていきます。

【モニターF氏】

花火についてです。たった15分であれだけの興奮を生むというのは、コロナ禍でみんなが我慢してきたという表れではないでしょうか。ただ、私は大室山のふもとの桜美林学園の施設のところで見ましたが、大室山から噴火しているように写真が撮れるのですが、高さが足りず、大室山に隠れて見えない花火が結構ありました。周囲に火が飛ばないように低めに上げたのかもしれませんが、もう少し高くしていただくともっと良く見えると思います。

【中村副市長】

花火の高さにつきましては、観客との保安距離によって決まります。観客にある程度近くで見てもらおうとすると低い花火になり、花火を高く上げようとすると観客との距離が遠くなってしまいます。ご意見として承り、来年も実施することになりましたら改善いたします。

【モニターC氏】

私も花火を山頂で見ました。後半はリフトで降りながら仰ぐように見ていました。とても特別な機会であると思いました。山頂は半分が封鎖され、密になるかと思いましたが、遊歩道沿いに良い感じに分散していたと思います。今後新型コロナウイルスが収束すればよいのですが、もし来年も大室山で花火を上げるとなると、今年よりも人が増えると思いますので、その時は抽選をしていただくというのも密を避けるのにはいいかもしれません。大室山と花火が両方見れるビュースポットを探すキャンペーンを行えば、観光にとっても文化にとっても新たな展開が望めるのではないかと思います。

私は本日SDGsのバッジを付けています。2015年9月からいろいろな取組を進めています。私が住んでいるのは伊豆高原駅の近くですが、今地元では「Maas戦記」が話題になっています。これは「モビリティ・アズ・ア・サービス」といいまして、新たな交通手段をスマートフォンやクラウドなどを活用して行うものです。東急グループの広報担当の森田氏が、伊豆地域でMaasを展開するのにどれほど苦労したかという物語で、皆様ご存じの「Izuko」の展開の物語です。

新内閣が発足し、国ではデジタル庁の創設の話が進んでいますし、今日の伊豆新聞でも天城高原別荘地の光ファイバーの記事が掲載されていました。今後の

Society 5.0並びに伊東市での新たな展開について、市長、副市長皆様のお考えをお聞かせください。

【市長】

花火については、頂上の定員を最大700人に決めていました。帰り際リフトに並ぶと密になりますので、概ね1時間で降りられるように700人にしました。ほぼ満員でした。打ち上げ場所については、池側が高くなっていますので、そちらから上げましたが、もし次回やるとするなら、打ち上げ箇所を変えたり、大きな花火にするなどを検討したいと思います。

天城高原別荘地の光ファイバーにつきましては、市からNTTに補助金を出し、これまで光ファイバーが届いていなかった約100世帯をカバーすることができました。これで伊東全域が網羅されたこととなります。このところテレワークが注目されていますので、インターネット環境が整備されていることを含めてPRして、別荘地の利用されていない保養所や施設などをサテライトオフィスとして活用できればと思っています。

今後のデジタル化につきましては、マイナンバーカードがなかなか普及しませんでした。マイナポイントによって少しずつ申請する人が増えています。マイナンバーカードを活用していくとデータ管理が一元化できます。また、ビッグデータを活用すれば、観光客の動向をアンケートをとらなくても一目瞭然に把握することができます。今年の3月16日からPayPayとコラボして、伊東市内の対象店舗で買い物をすると、5%のPayPayボーナスがもらえるキャンペーンを行いました。自治体では伊東市が初だと聞いています。新型コロナウイルスの影響で伸び悩み、予算額には達しませんでした。PayPayで決済できる店舗が大幅に増えました。今後もサービスの一つ一つをデジタル化できるように研究していきます。

【モニターJ氏】

私は萩に住んでいますが、角折住宅からもとてもきれいに花火が見えました。ぜひ来年も大室山での実施をお願いします。

私からお願いしたいことは、ICT教育を導入し、タブレット端末を利用した授業の実施、児童生徒が平等に充実した教育を受けられる環境の整備、学力だけでなく心や気持ちを育てる教育、健常者も障がい者も互いに認め合い、尊重しながら生きていくための道徳心を育てる教育、多種にわたり興味を持てる生涯学習活動の推進、家庭・地域・学校が情報の共有や見守りを行い、青少年の健全な育成が図れる体制の構築、コロナ禍の中で、不安を抱えている多くの子どもたちに対しての心のケア、体を動かすことが楽しいと思えるようなスポーツ活動の

推進です。

【市長】

学校設備については、ここ2年は競輪の収益を使って整備しています。平成30年は、国からの補助金と合わせて、すべての普通教室にエアコンを設置しました。今後音楽室なども順次設置していきたいと思います。昨年度は電子黒板を設置しました。今年度はタブレットを一人一台配布する予定です。競輪の収益がだいぶ良かったので、また教育へ使いたいと思っています。教育委員会と相談して決めますが、当然ICT教育関係になると思います。

心や気持ちを強くする教育につきましても、当然行うべきだと思います。私自身も早くに親と生き別れて独立心が強かった面もありますし、事業を始めたり、政治家になったり、これまで強い気持ちで生きてきたと言ってもいいと思います。自分の考え方を押し付けるようなことはできませんが、自分の経験を伝えられるよう作文を書こうと考えたことがあります。いろいろな人の経験を子どもたちに伝える機会を作っていければいいと思っています。

生涯学習につきましても、当然これまでも行っておりますが、いろいろな人たちが一緒になって取り組める活動を充実させていきたいと思いますので、お気づきのことがありましたら、ぜひご意見をいただければと思います。

コロナ禍で学校が休校になり、再開した後も学校に行けない子がいると聞いております。また、学校に行かせたくない親もいると聞いています。その方たちのケアにつきましても引き続き考えていきたいと思っています。今はリモートでの授業も可能であると思いますので、活用していければと思います。

スポーツ活動は楽しいと思えることが大事です。市内に新しい体育館を作ってほしいというご意見をよく聞きます。小中学校の体育館を使っているスポーツ団体が多くありますが、利用希望が多く抽選を通るのが大変というお声もあります。サッカーグラウンドも公式なものがなく、試合をやる時にはみなさん市外へ出て行きます。新型コロナウイルスの影響で先送りになりましたが、市民グラウンドの人工芝化につきましても、来年度に必ず実施したいと思っています。整備された施設があれば、プロも目を向けるようになると思います。伊東には温泉もあり、「健康回復都市」と銘打っていますので、今後いろいろな施策を検討していきます。

【モニターJ氏】

実は、学校に行けなくなってしまった子の相談をよく受けます。学校に行っても、「調子が悪いならいいですよ」と帰されるらしいのですが、結局テストを受けられないので通知表も悪くなってしまい、学校に行きづらくなるという悪循環

環に陥り、どうしたらいいのかと悩んでる保護者が多いです。障がいではないので特別支援学級には行けない、でも勉強はできない、「適応指導教室なぎさ」にもなじめないという子もいます。

【市長】

何より子どものことを一番に考えて支援をしていく必要があると思います。参考になるかわかりませんが、私の友人の子どもは中学校の時から不登校で、高校には行けませんでした。勉強したいという気持ちはありましたので、大学検定試験に受かって、今年慶応大学に入りました。中学校もほとんど行っていません。それを考えますと、いろいろな道があるなと思います。その子に合った教育を見極める目を、大人が持たなければならないなと思います。

【モニター I 氏】

コロナ禍で競輪は赤字になっていると思っていましたので、競輪の収益を教育に使うと聞いて驚きました。

私の子どもが玖須美保育園に通っています。私も通っていたので、園舎の老朽化が進んでいます。今後も小中学校だけでなく、保育園についても予算を付けていただきたいと思います。玖須美保育園には駐車場がないので、送迎時には路上に停車して順番待ちをしながら乗り降りをし、職業訓練校でUターンして帰るという流れになっています。最近近くに民泊ができて、民泊の駐車場の前には停車できなくなるのではないかと、父母の会の会合で話が出ました。朝の混む時間はだいたい決まっていますが、停車スペースが限られてしまうのが心配です。また、歩いて登園する親子もいるので、安全性の観点からも不安があります。駐車場の整備をお願いします。

【市長】

競輪の収益につきましては、無観客で行ったりしましたが、今はインターネットで券が買えるので、それほど影響はありませんでした。逆に言いますと、無料バスや、警備員が不要でしたので、経費が削減でき、観客を入れない方が収益率が高いということがわかりました。しかしながら、選手は観客がいないと燃えないようです。これからも収益を生むように努力していきます。その収益を何に使ったかわからないというのだけは避けたいので、教育に使っていきたいと思っています。今後は幼稚園、保育園、認定こども園などにも使っていきたいと思います。

駐車場の問題は、保護者の方や保育士の先生方にいつも言われます。近隣の方は協力的と聞いています。民泊については知りませんでした。必要であれば、教

育委員会が先方と交渉することも含めて対応していきます。どうしてもキャパシティが狭いですから、これまでも様々な工夫をしていただいていると思いますが、将来的には施設をどこかに移すということを考える時代がくると思いますが、それまでは何とかやりくりをお願いしたいと思います。

【モニターD氏】

ジビエについてお聞きします。引っ越してきてイノシシやシカを食べるようになりました。ここ数年波があるものの、なかなか盛り上がっていないと思いますが、今後何か仕掛ける予定はありますか。

【市長】

地域おこし協力隊を入れて鳥獣対策をする予定です。捕獲したものを食肉化もしくは肥料などに変えていく努力はしています。どのように消費につなげるかまで進んでいない状況です。なかなか販路がなく、加工しても売れなくて困ったという話を聞いています。

【中村副市長】

具体的な施策は今のところありませんが、以前の地域おこし協力隊の方は、ペットフードの方が販路が確実だということで方向転換した経緯があります。新たに今年から2人の方に協力をお願いしますので、もう少しすれば成果が出るのではないかと期待しています。

【市長】

もし何かご提案があればお願いします。

【モニターE氏】

NPO法人で動物関係の活動をしている友人が、イノシシやシカの肉のドッグフードをくれたことがあります。ジビエの料理法さえわかれば、食べる方がいるのではないのでしょうか。

【モニターC氏】

東京のとあるレストランの総料理長とお話をする機会があり、天城のシカ肉を使っていると聞いてとても驚きました。美味しく、質が高いとおっしゃっていました。ジビエは業者の処理能力と信頼がとても大事だそうです。トップクラスの専門家が太鼓判を押していましたので、誇らしいと思いました。ぜひ、伊東ブランドとして美味しさと安全性をアピールしてはどうかと思います。

【市長】

特にイノシシは足が速い（傷みやすい）と言われ、狩猟後すぐに処理が必要で大変だと聞いています。なかなか進まないのは、鮮度の維持が課題になるためです。

【モニターB氏】

9月24日の日経新聞夕刊に、2021年度予算の概算要求で、地方創生テレワーク交付金が予算化されたという記事が掲載されていました。私の周りでも実際にテレワークをしている人がいます。伊東市にとってチャンスではないかと思います。東京での仕事をしながら移住する人に100万円もらえるそうです。仕事を辞めて移住するよりは、ハードルが低いと思います。また、地方でIT企業を設立すれば、最大300万円もらえるそうです。IT企業はインフラが整備されているところであれば場所を選ばないと思いますので、保養所や空き家などを補助を付けて貸し出したり、情報のマッチングを行うだけでも良いと思います。長野県では、「おためし長野2020」という政策を打ち出しており、IT産業の集積を目指す「信州ITバレー構想」というものを掲げているようです。伊東市でも来年から始まる交付金に上乗せして金銭的な援助をしたり、情報の提供をしたり、社会基盤的な整備をして、「ITタウン」のようなものにできれば、観光だけでないということをアピールできるのではないかと思います。人口減少を食い止める施策としても良いと思います。テレワークとはいっても、月に1度や2度は東京の会社へ行く必要があるかと思いますが、伊東は日帰りで東京に行けるというメリットがあります。人が増えてくれば、JRにお願いして、踊り子号を朝晩の通勤用に増発するなどの新たな広がり出てくるのではないのでしょうか。

【市長】

従来空き店舗対策の補助金の制度はありましたが、物販や飲食店が主でした。今後は市独自の空き家対策が必要になってくると思います。不動産業界の方にお願ひして、実際の空き家の数を調査していますが、別荘などを含めるとかなりの空き家がありますので、活用したいと思います。全く使えない物につきましては、特定空家に指定されると、最終的には行政代執行で解体することがあります。一歩進んだ施策を検討し、IT関係やテレワークができる業種の方々を呼び込んでいきたいと思っています。

【モニターH氏】

特別定額給付金について、私はマイナンバーカードで受付開始早々に申請して、すぐいただきました。他の自治体では、紙で申請するよりマイナンバーカードでの申請の方が時間がかかったというところがありましたが、伊東市はどうでしたか。

【企画部長】

オンライン申請の場合、別のシステムにデータを入力し、紙に印刷して確認する作業が生じてしまいましたので、時間はかかりましたが、伊東市は早めに処理できました。

【モニターH氏】

今はマイナンバーカードを使って、コンビニで住民票を取得することができますようになったんですね。

【市長】

伊東市の住民票が、全国どこのコンビニでも取得できるようになりました。逆に他市町村の人も、伊東市内のコンビニで住民票を取得することができます。

【モニターH氏】

判子はなくならないですか？個人的にはあまり必要ないと思うのですが。

【若山副市長】

申請書類の多くはすでに不要にしています。不便だというご意見が多いようであれば、今後検討していきます。

【モニターG氏】

幼稚園が給食化になるというような話を聞いたのですが、本当ですか。

【若山副市長】

そういった要望は伺っておりますが、実現化はしていません。一時預かりで幼稚園に長時間預けられるお子さんが増えたことによって、要望が出たと思われます。

【モニターG氏】

先日テレビで、TOKIOの松岡氏が「静岡に住みたい」と言っていましたの

で、ぜひ伊東に来ていただけるようにアプローチできたらいいなと思いました。また、以前タライ乗りがテレビ東京の番組で取り上げられた際、バナナマンの日村氏が「一回出たい」と言っていたこともありました。芸能人の影響力は大きいので、今後同じようなことがあった時にアプローチできるといいと思います。

【市長】

今年度はロケツーリズムを実施しており、フィルムコミッションは従来から実施しておりました。シティプロモーションも3か年で事業を行っていますので、メディアを活用していきたいと思います。今後情報をキャッチした時に教えていただければ、オファーをかけます。

【モニターE氏】

市内に特別養護老人ホームが5つありますが、せっかく施設があるのに、介護職員不足で満床にできないのが現状です。新しい施設ができると介護職の取り合いになります。介護職をターゲットに、家賃補助をしたり、空き家を借り上げて安く住んでもらうなどして、移住を促すのはどうでしょうか。ぜひ施設がフル稼働できるように、人材の確保をお願いします。

【市長】

まさにこの10月から、医療・介護・保育関係の資格を持った方々を伊東に呼び込むための事業として、「はじめようITO新生活応援事業」を始めました。内容は、奨学金返還支援、家賃支援、転居費支援、子育て支援の4つです。奨学金返還支援は、月額2万円を上限に、最大120月補助します。家賃支援は、家賃の2分の1の範囲内で、月額2万5千円を上限に、最大60月補助します。転居費支援は、引っ越しにかかる費用など、30万円を上限に補助します。子育て支援は、お子さんお一人につき、月額3万円を最大60月補助します。相当手厚くしておりますので、ぜひいろいろな方にお知らせしてください。

【モニターE氏】

みなさん今回の新型コロナウイルスで大都会の住みにくさを実感したと思いますので、これを機会に地方に目を向けてもらいたいです。

【モニターF氏】

人工芝化した市民グラウンドで、ジュビロ磐田で活躍中の川奈小学校出身の上原力也君がプレーできたら最高だと思います。

テレワークについては、川奈小学校と川奈幼稚園の跡地を利用したらどうで

しょうか。景色が抜群です。または、青少年の家のように、市内全域の児童がイルカの学校や遠泳大会、キャンプファイヤーなどができるような施設にしてはどうでしょうか。

新図書館について質問します。私は市民ワークショップの一員です。現在、市民ワークショップと基本構想策定委員会の二本立てで進めていて、最終的には策定委員会から市長に案を提示するような流れになっていると思います。市民ワークショップのメンバーは、ほとんどが市外の図書館も伊東図書館も両方知っている人たちです。策定委員会にはそういった方は一人もいません。学校の校長や幼稚園・保育園の園長、教育委員長などです。私も策定委員会を傍聴しましたが、委員長の植松氏はとても優れた方で、皆さんに意見を聞くのですが、ほとんど発言しません。一方で市民ワークショップではたくさん意見が出ます。温度差がものすごくあります。今後市民ワークショップの意見を策定委員会にどう吸い上げてもらうかが、我々の使命だと思っています。

【モニターJ氏】

市民ワークショップとは何をするのですか。

【モニターF氏】

総勢35人が参加し、5グループに分かれてグループワークをやりました。みなさん意志を持って参加しているので、たくさんの意見が出ましたが、策定委員会の方は、2時間の会議の中で発言した人は数名で、1回発言したら終わりでした。委員の方は他の図書館を見ていないし、図書館を使っていないのではと思います。図書館を使っていない人が策定委員では意味がないと思いますので、それならば、委員が努力していろいろな意見を吸い上げて来るべきだと思います。市長としてこれからどうやって進めていくかをお伺いします。また、お金がないので西小学校を図書館にしたらという意見もありました。何億円も使わないでより少ないお金で済むのではないのでしょうか。

【市長】

私も第1回目の市民ワークショップに行きましたが、とても素晴らしかったです。子どもたちは将来的な自分たちの財産として図書館を利用していくと思いますし、その他にも参加してくださった方々は相当情熱を持った方が集まったなと感じました。基本構想策定委員会は、基本的には生涯学習課が事務局案を出して審議し、肉付けするような場であります。市民ワークショップでの議論は大事にするようにと行ってありますので、当然反映されるものと思います。

西小学校を活用する方法もあるかとは思いますが、相当古い建物ですし、既存

の建物を補修しながら利用するのは意外とお金がかかかりますので、しっかりとしたものを建てる方がいいと思います。費用については、民間資金を活用したり、起債という形でお金を借り入れますが、できるかぎり有利なものを使っていきます。将来的にいつでもリノベーションできるもので、温泉を活用した足湯、カフェなどがついた憩いの空間や、外に芝生を敷いて遊べる場所、広い駐車場などを作るように私も意見を言っています。これからの時代に合ったものを作っていくのが第一だと思っています。

以 上